

第9回文教厚生常任委員会会議録

令和7年9月5日

○事 件

所管課報告事項

(1) 八雲町リサイクルセンター火災復旧事業について（環境水道課）

協議事項

(1) 所管事務調査報告書（案）について

○出席委員（6名）

委員長 赤 井 睦 美 君
倉 地 清 子 君
関 口 正 博 君

副委員長 佐 藤 智 子 君
齋 藤 實 君
大久保 建 一 君

○欠席委員（2名）

黒 島 竹 満 君

能登谷 正 人 君

○出席委員外議員（5名）

安 藤 辰 行 君
横 田 喜世志 君
三 澤 公 雄 君

牧 野 仁 君
宮 本 雅 晴 君

○出席説明員（3名）

環境水道課長 横 田 盛 二 君
環境衛生係長 竹 原 利 亮 君

環境水道課長補佐 松 本 俊 紀 君

○出席事務局職員

事務局長 野 口 義 人 君

議事係長 千 代 貴 大 君

[開会 午後1時26分]

◎ 開会・委員長挨拶

○委員長（赤井睦美君） それではお疲れ様です。第9回文教厚生常任委員会を開催させていただきます。

【環境水道課職員入室】

◎ 所管課報告事項

○委員長（赤井睦美君） 今日は、環境水道課よりリサイクルセンター火災復旧事業について、ご報告よろしくお願いたします。

○環境水道課長（横田盛二君） 委員長、環境水道課長。

○委員長（赤井睦美君） 環境水道課長。

○環境水道課長（横田盛二君） お時間いただきありがとうございます。

前回の8月21日に、八雲町リサイクルセンターの火事の概要についてご説明させていただきましたけれども、その後来週の9月11日の追加の補正の内容がまとまりましたので、それについてご報告をさせていただきたいと思います。

また、今後のスケジューリングっていうか、ロードマップについてもある程度本日お示ししたいなというふうに考えておりますので、よろしくお願したいと思います。それでは、環境衛生係長より説明させます。

○環境衛生係長（竹原利亮君） それでは、1ページ目報告事業、1八雲町リサイクルセンター火災復旧事業についてご説明いたします。

①一般会計補正予算第4号につきましては、早急な復旧をおこなうために、7項目を実施したいと考えております。別紙をご覧ください。

1つ目、リサイクルセンター2階窓ガラス等修繕料についてですが、84万6千円の計上を予定しております。こちらは、火災が発生した不燃ごみ処理ラインである破碎機室と2階選別室は繋がっており、火災による熱と消火による放水で収縮膨張による影響と推測されますが、2階選別室における窓ガラス6箇所計12枚が割れて、クレセント錠6個が破損しており、これを交換する費用を計上しております。

2つ目、ペットボトル供給コンベア制御盤修繕料として、157万8千円の計上を予定しております。こちらは、火災が発生した破碎機室から設置位置に近いレイアウトであったことから、火災熱によりペットボトル圧縮成型機と連動する供給コンベア制御盤が破損し、通常処理に影響が生じることから、当該制御盤修繕料を計上しております。

3つ目、不燃ゴミ・不燃粗大ゴミ運搬料について、240万7千円の計上を予定しております。こちらは、八雲町八雲地域にて収集した不燃ゴミ及び不燃粗大ゴミを森町にあるゴミ処理施設に運搬する費用を計上するもので、見込数量は165tで1往復あたり税別2万5,435円、86往復分を見込んでおります。

なお、破碎残渣物は、森町との協議により搬入按分量にて持ち帰ることとなっており、こちらの持ち帰り分の運搬料も含めて計上しております。

4つ目、リサイクルセンター高所窓ガラス清掃手数料についてですが、17万3千円の計上を予定しております。

こちらは、火災黒煙により2階にある中央制御室や見学者ホールの窓ガラスが黒く汚れており、2階にいる施設管理者が1階での作業中の状況を把握できないため業務に支障を来す恐れがあることから、当該箇所の高所窓ガラス清掃手数料を計上しております。

5つ目、リサイクルセンター火災報知器検査等手数料として、5万5千円の計上を予定しております。こちらは、火災報知器検査及び受信機設定、電気系統漏電調査復旧業務費となります。

6つ目、不燃ゴミ処理業務委託料として、860万円の計上を予定しております。こちらは、森町ゴミ処理施設での処理業務委託料として、1tあたり税抜4万7,204円の計上とし、数量165tを見込んで算出しております。

7つ目、火災復旧改修実施設計業務委託料として、1千78万円の計上を予定しております。

こちらの業務内容としましては、損傷箇所復旧改修工事及びプラント工事用開口改修工事実施設計、火災状況調査及び改修箇所の検討、プラント改修工事との協議調整業務となります。以上が、一般会計補正予算第4号の説明となります。

つづきまして、②今後のスケジュールについての予定をご説明いたします。

第3回臨時会プラント設備工事請負費についてですが、令和7年11月の補正予算計上して予定しております。こちらにつきましては、罹災した破碎機室の復旧にあたり、破碎機の製作期間に1年程度の時間を要することから、早急に発注を行う必要があることから計画しております。

つづいて、実施設計業務完了後には、建築に係る工事請負費についての補正予算を計画しております。なお、補正予算時期としましては、プラント設備工事を実施する時期にあわせて、建築にかかる工事請負費の補正予算を計画しております。

以上、八雲町リサイクルセンター火災復旧事業にかかる説明となります。

○委員長（赤井睦美君） はい。ありがとうございます。このことについて、質問・ご意見ありませんか。

○委員（佐藤智子君） はい。

○委員長（赤井睦美君） 佐藤委員。

○委員（佐藤智子君） 大変な事態で、お見舞い申し上げます。今、言及されたかもしれませんが、完全に元通りになるまでには1年ぐらいかかるんですか。

○環境水道課長（横田盛二君） 委員長。

○委員長（赤井睦美君） 課長。

○環境水道課長（横田盛二君） そうですね。係長から今説明もありましたけど、破碎機の製造でおよそ1年かかるということですから、それ以上かかるということになると思います。それで、そういったことから今回追加で補正させていただいた後に次の11月でプラント破碎機ですとか、コンベア系統、あと分別機系統の補正を第2段階目でお願いしたいと考えております。

その後、実施設計建築の方が終わりましたら、破碎機の製造に合わせた形で追って、3回目の補正ということで、今考えているところでございます。森町さんから支援いただきながら、不燃ごみを運搬しながら処理していただくということになると思うんですが、今回の追加の補正については、令和7年度の予算ということで、3月末までの予算計上ということになりますので、8年の4月以降の部分につきましては、当初予算の計上の中で、今後は計上していきたいというふうに考えているところでございます。以上です。

○委員（佐藤智子君） はい。

○委員長（赤井睦美君） 佐藤委員。

○委員（佐藤智子君） 森町までの運搬料ということで、86往復分でありますけれども、これは来年の3月までっていう想定の数なんですか。

○環境水道課長（横田盛二君） 委員長。

○委員長（赤井睦美君） 課長。

○環境水道課長（横田盛二君） おっしゃるとおり、来年の8年の3月分までの積算ということでございます。改めて今回の火災の理由は何でしたか。

○環境水道課長（横田盛二君） 委員長。

○委員長（赤井睦美君） 課長。

○環境水道課長（横田盛二君） 一応、現時点でもまだ消防さんの最終的な見解っていうのはありませんけれども、火災の大体の判定の大筋としては、破碎機から破碎されたものが加熱をされて、その熱源が隣の第一コンベアの入り口に来て、延焼拡大したものであるということが原因だというふうにされています。どんなものかというものについては、わからないということで、固形のものなのか、液体のものなのかについても不明だということで聞いてございます。

○委員（倉地清子君） はい。

○委員長（赤井睦美君） 倉地委員。

○委員（倉地清子君） 聞き逃してしまったんですけど、多分今、佐藤委員の言ったことなんですけれども、3番の不燃ごみの森町のごみ運搬に関して何往復って言ってましたっけ。

○環境水道課長（横田盛二君） 86往復分となります。

○委員（倉地清子君） はい。

○委員長（赤井睦美君） 倉地委員。

○委員（倉地清子君） とても素人なのでちょっと教えてほしいんですけども、165tのものを持っていくのに、それぐらいかかるでしょう。この残渣物の搬入按分量っていうのを、もうちょっと詳しく教えてもらっていいでしょうか。

○環境衛生係長（竹原利亮君） はい。

○委員長（赤井睦美君） 係長。

○環境衛生係長（竹原利亮君） 実際に不燃ゴミを搬入した量に対して、そこから鉄で有価物として除く分ですとか、除かれて実際に破碎の埋め立てる処分するためのお持ち帰り分ということで、実際に100t入っても100t持ち帰るってわけじゃなくて、資源として回収できる部分を除いた破碎物への持ち帰りということで、実際森町のリサイクルプラザ

さんとでは、森町と鹿部町のゴミを処理しております、今回八雲町のゴミも入るということで、山頂での搬入量に対して、実際に破碎後の破碎物出てきた量に対して、その半分という割合で持ち帰るということでなっております。

○委員（倉地清子君） はい。

○委員長（赤井睦美君） 倉地委員。

○委員（倉地清子君） ちなみに、この165tの中から、それってどのぐらいのものが出るものなんですか。わからなかったの、すいません。豆知識と思って聞いたんで、分からなければ大丈夫です。

○環境水道課長（横田盛二君） すみません、ちょっと想定されません。

森町さんと鹿部町さんの今の按分のゴミの量も分からないので、どのぐらいの量だということではちょっと分からないかなというふうな今の時点では思っています。

○委員長（赤井睦美君） 他にありませんか。

○委員（大久保健一君） はい。

○委員長（赤井睦美君） 大久保委員。

○委員（大久保健一君） 森町まで具体的に輸送をする事業者っていうのは、誰になるんですか。

○環境衛生係長（竹原利亮君） 委員長。

○委員長（赤井睦美君） 係長。

○環境衛生係長（竹原利亮君） 実際にゴミの分別収集をしている久次米清掃さんに運搬をしていただくということで想定しております。運搬にあたりましては、森町さんの方から、破碎機に入れてほしくないゴミということで、例えば貝殻ですとか、そういうものは八雲町ですと実際に破碎かけてたんですけど、森町さんは破碎機の歯を痛める恐れもあるから持ってきてほしくないといった部分もありまして、その取り扱いに慣れている業者、久次米清掃さんに搬入するというで想定しております。

○委員（大久保健一君） はい。

○委員長（赤井睦美君） 大久保委員。

○委員（大久保健一君） 普通の業務よりも、その業務が多分増えるっていうことにはなるのかなって想像しちゃうんですけど、そのための人員配置とかって普段からしているわけではないんで、業務過多になるわけではないんですかね。心配のしすぎ。

○環境衛生係長（竹原利亮君） 委員長。

○委員長（赤井睦美君） 係長。

○環境衛生係長（竹原利亮君） 想定される搬入回数につきましては、週1回ないしは週2回で、毎週金曜日ないしは第一・第三水曜日の程度を予定しております、1台ないしは2台搬入ということで、通常の業務に影響を及ぼさない範囲で対応可能ということで聞いております。

○委員（大久保健一君） 分かりました。

○委員長（赤井睦美君） 他にありませんか。なければ。横田委員。

○委員（横田喜世志君） お邪魔します。八雲町って渡島の八雲側と熊石側って分かれてるんですけど、熊石側は向こうで処分してますよね。その中で八雲町として、そっちを使うっていうことにはならないんですか。

○環境水道課長（横田盛二君） 委員長。

○委員長（赤井睦美君） 課長。

○環境水道課長（横田盛二君） まず、熊石地域においては、南部檜山衛生処理組合ってことでごみを処理していて、八雲町地域においてはクリーンおしま、いわゆる渡島広域連合ということで処理をしています。それで、八雲地域におきましては、関連のごみについては連合で組みながら、クリーンおしまに運搬をして処理する。リサイクルできる不燃ごみにつきましては、八雲町独自でリサイクルセンターで破碎をかけながら、最終的に最終処分場に埋め立てをするという流れでやっております。

対して、南部檜山につきましては、すべて燃えるゴミと燃えないゴミ2種類のみで分別がありまして、それを南部檜山衛生処理組合で運搬をして処理しているということから、ゴミの分別の仕方ですとか、あと処理の仕方、それについて、まず異なった方式をとっているということが、まず一点目です。

あとは、もし運搬、仮にあの処理ができるとした場合においても、運搬にかかる距離ですよね。距離も遠くなるという部分で、やはり近隣の自治体に支援を求めるというふうにまず考えました。

そういった中で長万部町さんにおきましては、破碎機がないということで、近隣でいうと森町さんが破碎機があるということで、そういった運搬面の距離ですとか、分別の形式ですとかということを考慮して、森町さんの方に支援をお願いしたという経緯でございます。

○委員（横田喜世志君） はい。

○委員長（赤井睦美君） 横田委員。

○委員（横田喜世志君） 実際破碎機をかけなきゃならないゴミっていう部分でいけば、実際複合ゴミなんですよね。今八雲でやっているリサイクルごみは、皆さん町民の協力をして分別収集しているっていうふうに思うんです。一番破碎機を使う段階でいけば、例えば大きなもの。家具やらなんやらっていうのは、破碎機をかけたりとかして細かくして、持っていったんですけど、今現在は例えばある程度を壊して、長万部と同じような状況にして可燃ごみとして出している。

それで、缶やペットボトルっていうのも従来通り処理していると。問題は、鉄とプラスチックが混ざったものとかいうものとか。中身の入った缶詰やら、いろいろあるんですけど、そういうのをある程度分別しちゃうと、例えば南部檜山の処理でいけば、向こうはそのまま埋め立てられるんじゃないかなと思うんですが、わざわざ破碎機をかけずにもねって思うんですけど、そういうのを考えると、破碎処理費を考えてどうなのかなって思うんですが、その辺は検討の余地はありますか。

○環境水道課長（横田盛二君） 委員長。

○委員長（赤井睦美君） 課長。

○環境水道課長（横田盛二君） ちょっと南部檜山さんの状況わかんないので、破碎して埋めてませんか。ちょっと僕もそういう認識でいたんですけど。

○委員（横田喜世志君） はい。

○委員長（赤井睦美君） 横田委員。

○委員（横田喜世志君） それは多分ね、受け入れているところでやってるんだと思うんですよね。持っていく段階では、そこまでやってないと思う。

○環境水道課長（横田盛二君） 委員長、環境水道課長。

○委員長（赤井睦美君） 課長。

○環境水道課長（横田盛二君） ですから、同じですよ。破碎は多分、南部檜山さんに持って行って破碎するっていう。それで、埋め立てするという意味で考えると、森町さんに持って行っても、要はやることは同じということですよ。

○委員（横田喜世志君） はい。

○委員長（赤井睦美君） 横田委員。

○委員（横田喜世志君） でもさ、持って帰ってこない。

○環境水道課長（横田盛二君） それはまた、ちょっとその負担の割合が変わってくるんです。

○委員（横田喜世志君） どうなったの。若干の噂というか、認識は向こうの檜山さんの方が荒いらしいんですよ。処理の仕方が。なので、そんなに破碎処理手数料とかもかからないのかなっていう思いがあるんです。その辺をやっぱりちゃんと聞いて算出したほうがいいかなって思うんですけど。

○環境水道課長（横田盛二君） 委員長。

○委員長（赤井睦美君） 課長。

○環境水道課長（横田盛二君） ちょっと南部檜山さんの状況を私担当部署でなかったんで、詳しくわからない部分があるんですけども。基本的には今までリサイクルセンター八雲って、粗大ごみといわゆる大きいものとか、木製・金属製含めた中で破碎して、金属については買ってもらおうと。

それで、残った不燃物の残差については、最終処分場に埋めるということを考えると、同じ森町さんに運んだとしても、残りの部分の費用の運搬を考えたとしても、最終八雲町の持ち分というのは変わらないのかなというふうには、思うですよ。仮に、南部檜山さんで全部受け入れてきますよと言ったとしても、運搬の距離が長くなりますので、運搬の距離が長いことを考えると、高上がりになるのではないかなというふうに思うんですが、ちょっとその辺は確認取れてません、すいません。処理量がどのくらいかかるとか、ちょっと聞いてないもんですから南部檜山からは。

○委員長（赤井睦美君） よろしいですか。

○委員（横田喜世志君） まあ、聞いてないことを聞いても、どうしようもないから、わからないことを聞いてもしゃあないから。検討の余地はあるかなと思うんですけど、どうなんだろうなって。聞いてみる気はありませんか。

○環境水道課長（横田盛二君） 確認はさせていただきます。

○委員長（赤井睦美君） 他にありませんか。

（「なし」という声あり）

○委員長（赤井睦美君） これって、火災だから火災保険と違って、町の施設は適用になるんですか。それとも別ですか。

○環境水道課長（横田盛二君） 委員長。

○委員長（赤井睦美君） 課長。

○環境水道課長（横田盛二君） 火災の保険は適用になるんですけど、火災の保険の基準と責任割合とかなんかあるようで、マックス支払った部分が全て出るってことではないようです。それで、実際全国なんとか協会、町村保険の関係で、患者さんが経由して入ってるんですけども、現地を見に来てどういった火災の状況かということを見ながら、保険の割合が適用されるというふうにはなりません。

○委員長（赤井睦美君） 他になければこれで終わります。ありがとうございました。

○委員外議員（三澤公雄君） あ、ちょっと。

○委員長（赤井睦美君） はい。

○委員外議員（三澤公雄君） 今やりとりを聞いてて、横田さんの興味ある提言に対して、明確な答えが、向こうのことをちゃんと調べる、管轄外だったから調べてないということだったので、この報告に関しては、これで終わりってことじゃないっていう理解でいいのかな。

○委員長（赤井睦美君） 調査しますって言ってくれました。

○委員外議員（三澤公雄君） ね。だから、まだこれで決定じゃないのね。

○委員長（赤井睦美君） 捜査してくれる。ただ距離的には、長いから業者の負担にもなるし。

○委員外議員（三澤公雄君） うんうん。それはわかります。

○委員長（赤井睦美君） じゃあ、これで終わります。ありがとうございました。

○委員（斎藤 實君） 南部檜山衛生処理組合はね、昭和の時代の施設だよ。今3年ぐらいになると、28年か29年のところになると今、新しいものに計画しなさいって。

○委員（大久保健一君） 熊石は、どこまで運んでるの。

○委員（斎藤 實君） 南部檜山衛生処理組合、ブンテンあるでしょ。江差の手前に入るところに、ブンテン。あの付近の奥のほうだ。

○委員（大久保健一君） したら、江差まで運ばなきゃなんないんだ。

○委員（斎藤 實君） だから、距離的なものさ。そこはね、受け入れる。だけど、いろんな。

○委員長（赤井睦美君） ありがとうございました。

【環境水道課職員退室】

○委員長（赤井睦美君） では、今の報告事項について何か。今調べてくれるので、調べていただいてからの検討でよろしいですか。

○委員（関口正博君） はい。

○委員長（赤井睦美君） 関口委員。

○委員（関口正博君） 僕は、今のいろんな状況を考えたときに、ものすごくスピード感が止められてるんですよね。それで、日々受け入れを止めてないんで、次々とゴミが運ばれてきている状態、先ほど大久保さんが職員の負担ということを申し上げたけど、当然業務の中でそういう部分も出てくるので、あえてそんな遠くに運ぶということが検討する必要があるのかって言ったら、僕はないのかなっていう気はします。

とにかく、住民生活に支障をきたさないような対応を今はまず取ることが優先すべきじゃないかなと思うんだけど、それはどうでしょう。

○委員長（赤井睦美君） どうでしょうか。

○委員外議員（三澤公雄君） はい。

○委員長（赤井睦美君） 三澤委員。

○委員外議員（三澤公雄君） でも僕は、横田さんの質問の問題提起は、処理量にそもそも差があると。だけど、森の価格と南部檜山の価格を答えられないわけだしさ。

だから、そういった運賃の負担は、確かに距離が長いから大きくなるけども、払われるその処理量の差がそれを埋めても、本当に高くなるのか、安くなるのかというところまで報告してもらわないと、判断は、今関口さんが言ったような、判断はできないんじゃないかなって。

○委員長（赤井睦美君） 関口さんが言いたいのは、そういうことに時間をかけることによって、どんどんゴミが溜まってきますよね。だから、これをスピーディーに動かした方が、それと運搬する人の負担。

○委員外議員（三澤公雄君） 運搬する人の負担に関しては、まだ答えが出てない。要するに、処理費用の違いがあるっていう前提で質問しているから。南部檜山と。

○委員長（赤井睦美君） 時間が長いから運搬する人は、長い時間の負担がかかるじゃないですか。往復の距離の。そういう負担、お金じゃなくて。

○委員外議員（三澤公雄君） 落部地区の、そうだね。金じゃなくて、時間だと。

○委員長（赤井睦美君） そうそうそう。そういうことを考えて、どうですかと。

○委員（倉地清子君） 週1、2回で。

○委員（関口正博君） いや、もちろん調べてね、調べることはいいことなんだけども。ただ対応自体は止めるわけにはいかないんで、進めるところを進めながら金額を調べていただくよ。

○委員外議員（三澤公雄君） 南部檜山は、厚沢部にあるから落部の距離感はまだここでの答弁との間隔は違うんじゃないかっていう発言が。

○委員（斎藤 實君） いや、距離的には長いんでね。

○委員（大久保健一君） 長いよ。

○委員（関口正博君） 長いよ。これから冬になってきた時には、冬の運搬とかがって考えたときには、厚沢部線ぐらいって言ったって、なかなか大型を動かすってことは大変だと思いますよ。まあ、値段を調べるのは全然比較してみることは良いことだと思いますけど。

○委員（倉地清子君） せっかくなら聞きたいです。

○委員外議員（三澤公雄君） 根本的な費用の報告がないというか、費用の違いが。

- 委員長（赤井睦美君） それはそれで調べてもらいましょう。以上です。
- 委員（斎藤 實君） ただね、そこさ、職員が時間費やす、関口さんの心配ごとがね。そういうふうに迷惑かからないようにしなきゃないから。
- 委員長（赤井睦美君） ということで、調べてもらうことにしますか。
- 委員外議員（牧野 仁君） 一回に10t積まざる。週に一回に走ったって40t走れるんだよ。40tで164か月。
- 議会事務局庶務係長（千代貴大君） 調査を平行してやるってことで、理解でいいですか。
- 委員（大久保健一君） たいした意味ないな。
- 委員（関口正博君） 意味がないよね。

◎ 協議事項

- 委員（大久保健一君） 次に移りますか。
- 委員長（赤井睦美君） 調査報告書を皆さんのところに置いてあると思うんですけど、これについて。一番後ろにご意見があったら各紙が付いてますので、今読んで、今書くことは難しいと思うので、ご意見がありましたら、いつまででしたっけ。
- 議会事務局庶務係長（千代貴大君） 委員長、事務局。
- 委員長（赤井睦美君） 係長。
- 議会事務局庶務係長（千代貴大君） 来週の8日を目安に事務局あて。これを書いてもらってもいいですし、LINEとか電子メールでも承りますので、ご意見ありましたら、提出いただけたら幸いです。
- 委員長（赤井睦美君） 9月8日までに報告書について。
 それで、報告書はせっかく視察に言ってきたので、視察に行ったことも載せてます。それから、ケアラー条例のことも、なぜ取り組んだのかっていうのも載せています。視察に行った時にいっぱい質問もしたし、いっぱい資料をもらって、いっぱい写真を撮ったんですけど、よくよく分析したら、文厚に関わることはここしかなくて。あと、全部総務委員会に関わることだったんですね。ですから、短いですけど、文厚に関わるところだけここに載せました。
 あとは、総務委員会の方の管轄なので、総務委員会がうまくまとめてくれたらいいなと思っています。ということで、何か質問・ご意見ありませんか。
 それと報告を受けたら、毎年何月にどんな報告って書いてたんですけど、それはもう皆さん議事録を持っているので、それは書かずにこの中で意見がたくさん出た項目だけ寄せさせていただきます。何か質問ありましたら、よろしく願いいたします。
 （「なし」という声あり）
- 委員長（赤井睦美君） なければ、最終日にケアラー条例発委を行いたいと思いますので、皆さんも質問・意見出さないようによろしく願います。ある方は今やってください。
- 委員（大久保健一君） そういうのは、佐藤さんによく言っといたほうがいいですよ。
- 委員（倉地清子君） 質問ちょっといいですか。

- 委員長（赤井睦美君） 倉地委員。
- 委員（倉地清子君） この報告書の自分の思いを全員書くんでしようけれども、これはどのような保存になるんですか。この意見の。
- 議会事務局庶務係長（千代貴大君） 委員長、事務局。
- 委員長（赤井睦美君） 係長。
- 議会事務局庶務係長（千代貴大君） 必須ではないですけど、もしあればって言う立ち位置でして、もしあれば、これは8日の日に集めさせてもらったら、時間的には、正副委員長と相談させていただいて、どのように盛り込むかってかたちに調整します。
- 時間的に、最終的に、最終形を皆さんにお示しになるのは、議場になってしまう。
- 委員（大久保健一君） これでいいです。これでいいと思います。よく出来てます。
- 委員長（赤井睦美君） ありがとうございます。
- 委員長（赤井睦美君） じゃあ、何かなければ、よろしくお願いします。
- その他、何かありませんか。
- 議会事務局庶務係長（千代貴大君） 委員長、事務局。
- 委員長（赤井睦美君） 係長。
- 議会事務局庶務係長（千代貴大君） 次回、所管課から報告がありましたら、9月18日木曜日午前10時を予定しています。ただ、もし担当課の所管の報告がなければ、この回については延期というかたちになるのかなと思いますので、よろしくお願ひいたします。
- 委員長（赤井睦美君） 18日木曜日、何かありましたら開催します。他に皆さんから何かありませんか。

（「なし」という声あり）

- 委員長（赤井睦美君） なければ、これで終わります。お疲れ様でした。

[閉会 午後1時57分]